

塾報しゅうめい

第9号

平成24年10月10日
発行人 塾長 上谷 恭範
〒111-0052
台東区柳橋1-26-3
TEL 03(3862)9218
<http://www.syumei.co.jp>

幼稚園受験・小学校受験直前号

小学受験は、親の試験である

塾長 上谷 恭範

小学受験と中学受験のちがいを一言で表すなら、小学受験は親の受験だといえる。つまり、親がわが子を5・6歳までどう育成してきたか、わが子がどう成長したかを見る試験である。

わが子が誕生し、父親と母親を認識し、絶対視し、親のまねをし、赤ちゃん言葉を覚えていく。1・2歳になると添い寝しながらの読み聞かせで絵本を丸覚えし、童謡を口ずさむ。3・4歳では、親以外にもだちを意識し、家庭から他人が登場し、社会性が入って、家庭のしつけ以外に公共性のある道徳、しつけ、つまりやっていいことと悪いことを教えられていく。さらに本に親しみ、数に興味を抱き、えんぴつを、クレヨンを持ち字を書くこと、絵を描くことを親にねだり、ほめられることをのぞむ。それは親が子をどのように心身ともに健康な子へ育てていったか、親がわが子にどれだけ手をかけていったかのテストであるといつて過言ではなからう。わが子の育成に、放任主義であってはならないということである。

小学受験では必ず親と子の面接試験がある。(子の面接はなくても親の面接は必ずある。)

◎保護者への面接試験から

- ①どんなお子様ですか。具体的にお答えください。②子育てで注意なされた点は、具体的に
- ③ご家庭の教育方針は
- ④最近お子さんが成長したと感じる点、具体的に
- ④本校への志望動機がお子様の育成に合致していますか
- ⑤お父様は日頃、お子様にどのようなかわり合いをなさっていましたか 等々…

◎お子様への面接試験から

- ①お友達のお名前を教えてください
 - ②お友達とどんなお遊びをしますか
 - ③お父様、お母様にどんなお手伝いをしますか
 - ④どんな時にほめられますか
 - ⑤好きな食べ物、嫌いな食べ物は何ですか 等々…
- ペーパーテストは短期間に、今からでもおそくはなく、志望校に過去出題された問題、類似問題を集中して覚えさせることはできる。しかし、お子様は日々成長していく。誕生してから5、6年間の成長は驚異的なたくさんものがある。だからこそ親は一日一日、子どもを教育していかなければならないし、小学受験が親の試験である。所以であることがお分かりできたであろう。

子供は、親の、ご家庭の、友達の、周りの環境での良いところ、悪いところをすぐマネしていく。だから幼児教育は必要だといえるし「鉄は、熱いうちに打て」というように早ければ早い程良いと言える。

合格を手にする為に

脇田 良子

幼稚園・小学校の入学試験まで一カ月を切りました。今回の塾報では、**一**入試直前の効果的な過ごし方、**二**入試当日の注意と面接の受け方について記してみたいと思います。

一、入試直前の効果的な過ごし方。

受験校の出願日程、出願方法、受験票の返却日、面接日時、調査日時、合格発表の方法・日時、手続方法・日時、必要書類等。

時に複数の学校を受験する場合は、日程の重なり方に注意し、書き落しのないよう、細かいことの一つひとつまで記入しましょう。

毎日の生活もスケジュール表どおりに確実にこなし、終了したらチェックするというようにします。親の動揺・不安を子どもは敏感に感じ取ります。特に受験生本人は、普段と変わりなく、平穏な日々が過ごせるようにしましょう。

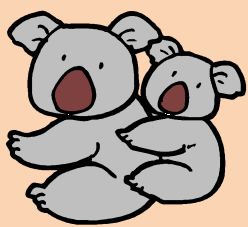
二、子どもには自信を持たせ、心の安定に心がけましょう。

幼い子どもでもこの時期になると、親の動きや雰囲気などから、緊張感や不安感を感じているものです。「プリントの答えがまちがったらどうしよう。」「うまくできなかったら」「お母さん、怒るかも」と小さな胸を痛めているのです。

特に家庭学習をする場合に注意しましょう。間違えたことを叱るのではなく、以前よりも少しでも良くなっている点、努力した成果を認め、ほめてあげてください。また、子どもとの対話を多くしてください。「言葉使い」「言語」「常識」「公衆道徳」に注意しながら、お話作り(季節・身の回りの物の用途や名称を取り入れた)などに取り組みみましょう。これは面接にも役立ちます。

三、お子さまの体調管理をきちんとしましょう。

十月には、各幼稚園で運動会が行われます。今年には秋になっても真夏のような日が続いています。子どもたちは、この暑さの中で、毎日運動会に向け練習をしています。



また、幼児教室やテスト会では、合格に向けてのいろいろな講座が設けられ、日曜日にゆっくりするひまもなく、親子で朝早くから活動しています。疲れて抵抗力が弱くなると、流行している感染症に感染したりもします。疲れている様子が見えたら、一日二日ゆっくり休ませてあげることが大切です。

何よりも体調を整え、入試当日に、持っている力を十分に発揮できるように、気を配ってあげましょう。



二、入試当日の注意点と面接の受け方

一、持ち物のチェックリストを作成しましょう。調査内容の違いにより、当日持参しなければならないものがちがいます。受験票はもちろん、体育着、上履き、軽食等…一つ一つ各学校の配布書類に記載されている必要事項に基づき、しっかりチェックし準備しましょう。親のミスや不注意から、子どもに不安や緊張をあたえないよう心掛けてください。

二、集合時間30分前には到着しましょう。

入試当日は余裕をもって起床し、朝食をとり、用便は必ず済ませておきましょう。学校には30分前に到着し、校内の掲示やアナウンスに十分気をつけましょう。校門に足を一歩踏み入れた、その瞬間から入試は始まっています。校内での言動には配慮してください。

待ち時間にあきてしまわないために、幼稚園受験の保護者の方は、ご自分のお子さまが一番好きな本や、折り紙等、待ち時間を楽しく過ごせる品物をご持参するのも良いと思います。

三、面接の受け方

入学願書に記入した志望理由や家庭の教育方針は、願書のコピーで内容を確認しましょう。受験校の沿革や教育方針・宗教については学校案内を読んでしっかり覚えてください。

面接とは別に、試験中にアンケートやレポートを提出させる学校もありますので、きちんと準備をして臨みましょう。

面接は第一印象が大変重要です。一番目につくのが服装です。ご両親・子どもとのバランスを配慮し、清潔感を与える服装が良いでしょう。入退室のあいさつや、質問に対する応答は音量・歯切れのよさ・要領よく話せることが良い感じを与える条件といえます。質問の内容については、質問の意図に即して簡潔に話せるよう、ご両親であらかじめ話し合っておきましょう。

父親と母親とがそれぞれの立場や役割を十分に担い、子どもの成長を見守っている暖かい家庭の雰囲気、ご両親の我が子入学させたいという熱意が学校側に伝わるよう、落ち着いた物腰で質問に答えましょう。

以上万全の準備をし、入試に臨みましょう。



幼児英才教室のホームページはこちら!
<http://www.syumei-eisaikyoushitsu.com>

私は、前号(塾報第八号)の記事で、「中三受験生の2学期の生活」について心構えを述べました。今回は、その続編として、将来的な高校受験に向けて、中学一・二年生を対象に、「教師」「生徒」「保護者」の観点で、必要なことを少しお話いたします。

①教師：通常コースであれば、数学・英語の週2回の通塾で、塾生にいかにして各単元の基礎理解を定着させ、定期試験の成績向上に結実させるかは、各担当教師の腕の見せ所です。実際には、塾での指導時間よりも「家庭学習が可能な時間」の方が多いためです。家庭での「自立学習の方法」を指導すると共に、塾での演習授業指導は、「わからないところをしっかりと理解させ、問題を解けるようにする」ことを徹底します。ですから、塾生には、授業中の的確な指示を守り、与えられた課題は、きちんとこなして欲しいのです。修明塾の教師は、定期試験直前の指導や時間外の補習等、積極的に教室開放をしながら、皆さんを待ち構えています。

②生徒：公立の中一・二年は、「定期試験対策勉強」に全力を注ぐこと。「部活動中心」の生活を送らざるを得ないため、どうしても「疲れたから」「忙しくて、時間が」「ヤル気がなかなか出なくて」「など、ネガティブな言動を耳にします。「携帯メールやゲーム等」の誘惑も多い(ペナルティとして取り上げられないように注意...)」ので、集中力の維持が不可欠です。何事も短期間でまとめて取り組もうとすると、量が多くなり、一層ヤル気も低下し、点数にもつながりません。毎日少しずつ分散して、「習慣付け」を定着させ、学習上の不安や問題点などは、「塾を頼って解決する」流れをつくりましょう。そして「家での学習」と「塾での学習」をしっかりと分けながら、効率の良い学習を心掛けましょう。

「受験基礎力を養成する、簡単な家庭学習法」
①漢字・英単語・計算練習は
毎日継続する。(小学校と同じ...)
②各単元内容について、自分の言葉
で簡単に説明できるようにする。

③保護者：通塾させたことで、「勉強習慣が身に付いたか」「テストの成績が伸び、自信が持てるようになったか」「志望校に合格できる受験対応力をしっかりと付けてくれるか」などが大きな関心事です。つまり、「我が子の良い変化」を実感することで、「塾側への期待や信頼度」が増し、良好なコミュニケーションの構築ができるのです。ですから、我が子の塾内での学習の様子をよく把握して、担当教師からも積極的に話を聞く機会を得るようにしてはいかがでしょうか。

修明塾HPはこちら <http://www.syumei.co.jp>

(※塾報バックナンバーもご覧になれます)

修明塾ブログ(受験・教育に役立つ情報・日々更新中!)

小さな受験戦士たちへ

金子 義一

みなさん、あいさつをしていますか?さて私と同じマンションに住んでいる小学生(おそらく蔵前小)とのエピソードを紹介します。私は、エレベーターと一緒に乗り合わせた時必ず、朝なら「おはようございます」昼なら「こんにちは」夕方なら「こんばんは」そして夜なら「おやすみなさい」と、どんな人にも声をかけるようにしています。前述の小学生にも何回か声をかけましたが、ほとんど無反応。ところが、ある日曜日、偶然その子がエレベーター内で「今日も仕事なの?」との問いかけ。また、つい最近、1Fの集合ポスト前で満面の笑顔で「こんにちは」と大きな声であいさつをしてくれました。黙っていては、人とのつながりは生まれません。勇気を持ってあいさつをしましょう。ところで、受験戦士たち!今やるべきことは、ひたすら勉強と暗記です。自分に甘えることなく突き進むことです。では具体的に何をすればよいかといえば、漢字語句の練習、計算一行問題の練習、理社では一問一答形式の演習、ニュースを毎日見る、新聞を読むなど基礎基本を固めることを忠実に実行してください。かつこよく勉強はできません。がむしゃらにやってみてください。本番まであと5カ月!「合格」が決まるまで自分を磨いてください。



秋の思い出

寺川 豊

秋の思い出と言われて、すぐに思い出されるのは「提灯行列」です。と言うのも、僕の出身地である愛媛県松山市では、僕の誕生日から提灯行列が始まるからです。この日は提灯をもった町内の子供たちが行列を作り、「もてこい、もてこい」と言いながら、町中を練り歩きます。提灯行列終了後には町内会から景品が配られ、提灯行列を終えて家に帰るとバスデーケーキが待っている、子供ながらにとっても楽しい誕生日でした。

提灯行列から数日後にはお神輿が出ます。この日は地元の公立学校も休みとなり、小学生から高校生までが集まって、町中をお神輿を担いで回ります。すごく重かったですね、てっぺんに金の鳥がとまっていたあの大きなお神輿。家に帰って肩口を確認してみると、しっかりと赤い跡が残っていたものです。しかし、こちらも最後に豪華な景品が配られるので、朝早くから日が暮れるまで頑張った思い出があります。

どちらのお祭りにも景品目当てで参加していたことは否めませんが、今となっては心に残っているのは、景品よりも、ぼんやりと光る提灯を持って夜の街を歩き回るわくわく感や、日中普段は静まり返っている町中を、大人子供入り混じってわいわいがやがやお神輿を担いで回る、非日常の空気がもたらす独特な感情です。僕個人としてはそわそわした感情というのが一番表現としてあっているかもしれません。秋は今までの事柄が一段落する実りを迎える季節であると同時に、新しいことが始まることを予感させる、どこか引き締まった風が吹く季節でもあります。みなさんもこの秋、お祭りに足を運ばれてはいかがでしょうか。夏祭りとはまた一味違った趣があるかと思えます。

10月の主な行事

衣替え(10月1日)

6月1日と10月1日に衣替えを行うところが多いですが、これは公家や武家で行われていた衣替えの風習の名残です。

体育の日(10月第2月曜日:2012年は8日)

1964年(昭和39年)に東京オリンピックの開会式が行われた10月10日を記念して、国民の祝日「体育の日」となりました。その後「ハッピーマンデー構想」により、体育の日は2000年(平成12年)から10月の第2月曜日となりました。

ハロウィン(10月31日)

11月1日はキリスト教の全ての聖人を祝う祭日「万聖節」ALL Saint's Dayです。そして万聖節前日の10月31日が「ハロウィン」Halloweenです。

アメリカなどでは、子供たちが魔女やお化けに変装して「Trick or Treat! (ご馳走くれないとイタズラするぞ)」と言いながら近所の家々を回り、お菓子をもらう習慣があります。

※参考:筆まめネット <http://cafe.fudemame.net>

10月の予定

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

◎小・中学生対象

21日(日)・28日(日) サンデースクール

◎私立・国立幼稚園小学校入試直前特訓講習

日曜日特訓:9月30日・10月14日・21日・28日(いずれも日)

平日特訓:10月4日・11日・18日・25日(いずれも木)

国立受験特訓:11月4日・11日・18日・23日



ご感想・ご意見をお寄せください。
電話03(3862)9218 もしくは
メールhonbu@syumei.co.jpにて受け付けております。